

## 「福島県における日常食の放射性物質モニタリング調査結果（第2期）」の訂正について

平成25年3月13日

福島県災害対策本部（原子力班）

平成25年2月20日に公表したこのことについて、公表内容に誤りがありましたので訂正いたします。

### 1 訂正内容

○全77人分の調査結果（全1078データ）のうち、47人分の調査結果（488データ）

※詳細は、別紙「福島県における日常食の放射性物質モニタリング調査結果（第2期）」

【訂正版】の下線部

○訂正に伴い、放射性セシウム濃度等は下表のようになりました。なお、県北の1試料のみ食品の基準値（一般食品：100Bq/kg）を超過し、その他の試料は食品の基準値に比べ十分低い値であること等の評価について訂正はありません。

試料内容		放射性セシウム濃度(Bq/kg)	1日当たりの摂取量(Bq/人・日)	内部被ばく線量(mSv/年)
県北の1試料	訂正前	171	430	2.4
	訂正後	150	380	2.1
上記以外の76試料	訂正前	不検出～1.5	最大 2.5	0.014
	訂正後	不検出～1.6	最大 2.5	0.014
全国調査結果の過去最大(※)			4.4	

※1963年度～2008年度の環境放射能水準調査の最大値

### 2 原因

放射線の計測後、試料量に応じて実施した濃度換算に誤りがあったため。

(問い合わせ先：原子力班モニタリングチーム 電話：024-521-1917)

# 福島県における日常食の放射性物質モニタリング調査結果（第2期）【訂正版】

（※下線部が訂正箇所）

平成 25 年 3 月 13 日  
福島県災害対策本部（原子力班）

「平成 24 年度福島県における日常食の放射性物質モニタリング調査計画」に基づき、平成 24 年 9 月から 11 月に実施した調査（以下「第 2 期調査」という。）のうち、放射性セシウムの調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

## 1 調査の目的

県内 7 方部において、一般家庭の日々の食事（日常食）に含まれる放射性物質の濃度を調査し、県民の内部被ばく線量を推定・評価するための基礎資料を得ることにより県民の安全・安心を確保する。

## 2 調査対象の放射性物質

放射性セシウム（セシウム 134、セシウム 137）

（分析機関：財団法人日本分析センター、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所、福島県原子力センター）

## 3 調査期日

第 2 期調査（食事回収期日）：平成 24 年 9 月 16 日から 11 月 16 日

## 4 調査対象者

県内 7 方部の一般世帯から選定した 77 人

※当初計画では調査対象を 78 人としていたが、調査協力者 1 名が県外に転居したため、今回は 77 人となった。

表 1 調査対象者方部別・年齢別構成（単位：人）

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
1 歳未満	4	7	2	3	1	2	5	24
1 歳～12 歳	7	7	2	3	1	2	5	27
13 歳以上	6	7	2	3	1	2	5	26
計	17	21	6	9	3	6	15	77

※各方部からの選定人数は、各方部世帯数の概ね 0.01%の割合とした。

※第 1 期調査開始時（平成 24 年 6 月）の年齢で集計。

## 5 調査方法

1 日分の朝・昼・夕の 3 食及び間食、飲料、外食等、調査対象者が飲食したもの（母乳は対象外）と同じものを回収し、これらを混合・攪拌して測定試料とした。なお、1 日の食事量が少ない場合（1 日で 2 リットル未満）は、数日分をまとめて測定試料とし、1 日当たりの食事量[kg/人・日]を算出した。放射性物質の測定にはゲルマニウム半導体検出器を用いた。

## 6 調査結果

### （1）日常食の放射性セシウム濃度

日常食の放射性セシウム濃度の概要を図 1 及び表 2 に示す（詳細は別紙 1）。

○放射性セシウム（セシウム 134 とセシウム 137 の合計）は、77 試料中 56 試料（約 73%）で検出された。その濃度範囲は 0.052～150 Bq/kg であり、東北地方の 1 試料で 150Bq/kg が検出されたが、これを除く 76 試料は、2Bq/kg 未満であった。

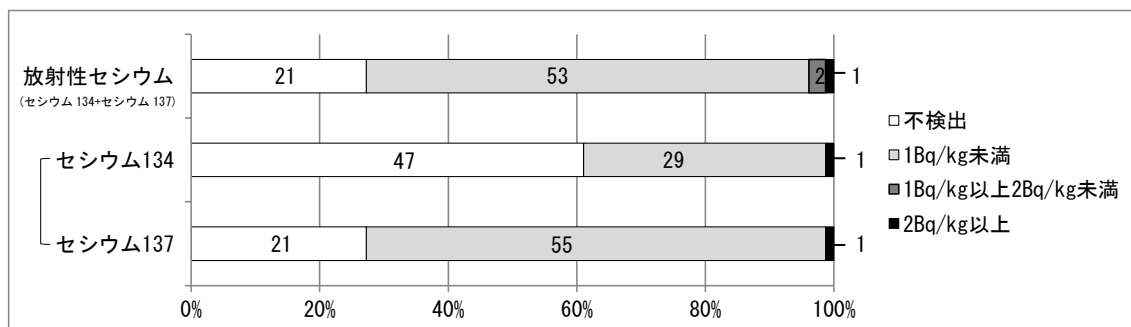


図 1 日常食の放射性セシウム濃度の測定結果概要（試料数）

表 2 放射性セシウム濃度の測定結果概要（試料数及び測定値等）

	放射性セシウム (セシウム 134+セシウム 137)	セシウム 134	セシウム 137
不検出 (検出下限値)	21 試料 —	47 試料 ( <u>0.050～0.47 Bq/kg</u> )	21 試料 ( <u>0.061～0.45 Bq/kg</u> )
検出	56 試料	30 試料	56 試料
検出濃度 (検出下限値)	<u>0.052～150 Bq/kg</u> —	<u>0.077～57 Bq/kg</u> ( <u>0.064～0.21 Bq/kg</u> )	<u>0.052～93 Bq/kg</u> ( <u>0.043～0.19 Bq/kg</u> )

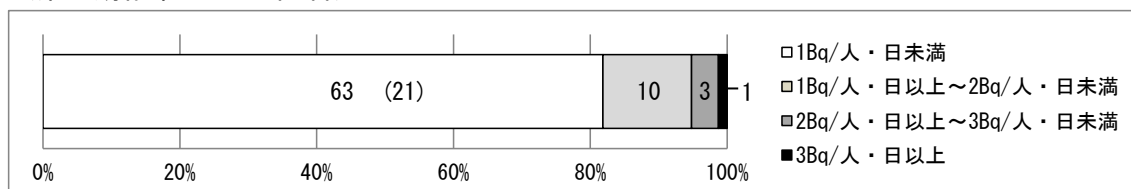
※Bq：ベクレル、kg：キログラム

(2) 日常食から摂取される放射性セシウム量

○日常食から 1 日当たりに摂取される放射性セシウムの量は、0.065 ～ 380Bq/人・日 (※) であった (図 2 参照、詳細は別紙 2)。今回の結果では、東北地方の 1 試料が 380 Bq/人・日 と高かったが、これを除く 76 試料は、今年度第 1 期調査結果 (平成 24 年 6 月実施) と同様の傾向であった。

※より安全側に立った評価をするため、セシウム 134、セシウム 137 の濃度が不検出の場合は、検出下限値の放射性セシウムが含まれていると仮定して試算。

(第 2 期結果 全 77 試料)



(第 1 期結果 全 78 試料)

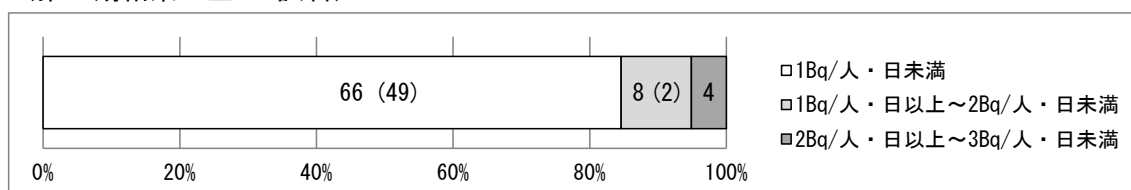


図 2 日常食から摂取される放射性セシウム量の測定結果概要（試料数）

※( )内の数値は、放射性セシウムが不検出であった試料の内数。

## 7 考察

### (1) 放射性セシウム濃度及び摂取量について

#### (ア) 放射性セシウム濃度（セシウム 134 とセシウム 137 の合計値）について

○県北地方の 1 試料から、食品中の放射性セシウム基準値（一般食品：100Bq/kg、乳児用食品：50Bq/kg、牛乳：50Bq/kg、飲料水：10Bq/kg）を上回る 150 Bq/kg が検出された。当該調査対象者の食事内容を確認したところ、山林に自生していたきのこや自家栽培の食材を使用していた。このことが、高濃度の放射性セシウムが検出された主な要因になったと考えられた。

○一方、これ以外の試料では不検出～1.6Bq/kg となり、食品中の放射性セシウム基準値と比較し、十分低い値であった。（表 3 を参照）

**表 3 日常食の放射性セシウム濃度と食品中の放射性セシウム基準値の比較**

試料内容	放射性セシウム濃度(Bq/kg)	食品中の放射性セシウム基準値(Bq/kg)	食品の基準値との比較
県北地方の 1 試料	<u>150</u>	一般食品:100 乳児用食品:50	超過
上記以外の 76 試料	不検出～ <u>1.6</u>	牛乳:50、飲料水:10	十分低い

#### (イ) 放射性セシウム摂取量について（表 4 及び図 3 参照）

○日常食から 1 日あたりに摂取される放射性セシウム量は、県北地方の 1 試料で 380 Bq/人・日となり、過去の調査結果の最大値 4.4Bq/人・日（セシウム 137 摂取量）を大幅に上回った。

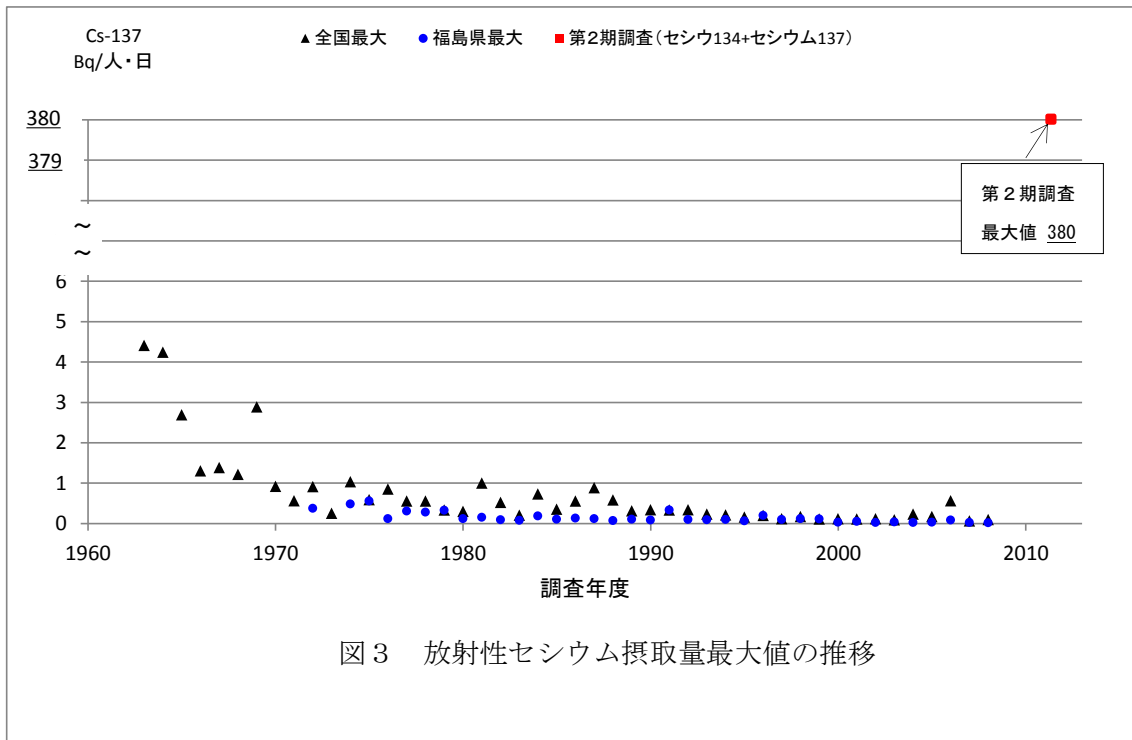
○一方、これ以外の試料では 0.065～2.5Bq/人・日であった。この範囲における最大値 2.5 Bq/人・日は、東京電力（株）福島第一原子力発電所事故発生前において、全国の都道府県で実施された最近 10 年間の調査結果の最大値 0.56 Bq/人・日（セシウム 137 摂取量）を上回ったが、過去の調査結果の最大値 4.4Bq/人・日（セシウム 137 摂取量）の範囲内であった。

**表 4 過去の調査結果との比較（放射性セシウム摂取量）**

今回調査結果 (セシウム 134+セシウム 137)	最近 10 年間の最大値（事故発生前）		過去最大（事故発生前）	
	全 国 (セシウム 137)	福島県 (セシウム 137)	全 国 (セシウム 137)	福島県 (セシウム 137)
県北地方の 1 試料 <u>380</u> Bq/人・日	0.56Bq/人・日 (2006 年度)	0.11Bq/人・日 (1999 年度)	4.4Bq/人・日 (1963 年度)	0.56Bq/人・日 (1975 年度)
上記以外の 76 試料の 最大値 2.5Bq/人・日				

※最近 10 年間の最大値；1999 年度～2008 年度の環境放射能水準調査の最大値。

※過去最大；1963 年度～2008 年度の環境放射能水準調査の最大値。



※「文部科学省“環境放射線データベース” <http://search.kankyo-hoshano.go.jp/servlet/search.top> (参照 2012-07-27)」により作成。

## (2) 預託実効線量の試算

○今回調査した日常食を仮に1年間食べ続けた場合の、放射性セシウム摂取による内部被ばく線量(預託実効線量※1)の試算結果を表5に示す(※2)。

(詳細は別紙2)

(※1) 預託実効線量;放射性物質摂取後、それが体内からなくなるまでの間の総内部被ばく線量。

(※2) より安全側に立った評価をするため、セシウム134、セシウム137の濃度が不検出の場合は、検出下限値の放射性セシウムが含まれていると仮定して試算。

○県北地方の1試料では、内部被ばく線量が年間2.1mSvとなり、国が食品の基準値設定の際に示した「放射性物質を含む食品からの被ばく線量の上限:年間1mSv」を上回った。

ただし、当該調査対象者の第1期調査結果は、放射性セシウム濃度が0.95 Bq/kg、放射性セシウム摂取量が2.0Bq/人・日、内部被ばく線量(預託実効線量)の試算値が年間0.012mSvであり、過去の測定結果等と比べて低い値であった。このことから、当該調査対象者が、年間を通して今回の高濃度放射性セシウムを含む食事を摂取するとは考えられず、実際に食事から受ける内部被ばく線量は、上記試算値2.1mSvより低いと考えられる。

○上記以外の76試料の最大値は年間0.014mSvとなり、上記の上限値(年間1mSv)と比較し、十分低い値であった。

また、この最大値は、日本人がもともと食品中に含まれる自然放射性核種(カリウム40等)から受ける内部被ばく線量(年間約0.98mSv)と比較しても十分低い値であった。

表 5 放射性セシウム等の摂取による内部被ばく線量

試料内容	1日あたりの摂取量 (Bq/人・日)	1年間の摂取に伴う 内部被ばく線量(mSv/年)
県北地方の1試料	380 (放射性セシウム)	2.1
上記以外の76試料	最大 2.5 (放射性セシウム)	最大 0.014
一般的な食品	—	約 0.98(※)

(※)「新版・生活環境放射線(国民線量の算定)」(原子力安全研究協会、2011年12月)より引用。自然放射性核種の経口摂取による内部被ばく線量は、主に鉛210、ポロニウム210から0.80mSv/年、カリウム40から0.18mSv/年など、合計約0.98mSv/年。

## 8 今後の予定

- 第2期調査の試料の一部について、放射性ストロンチウム及びプルトニウムの分析、測定を予定しています。これらの調査結果については、結果がまとまり次第お知らせします。
- 日常食に含まれる放射性物質の年間の推移を把握するため、第2期調査に御協力いただいた方を対象に、引き続き調査を実施しています。これらの調査結果についても、結果がまとまり次第お知らせします。

## 9 県民の皆様へ

県民の皆様におかれましては、食品からの内部被ばく線量をできるだけ低く抑えるため、自生するきのこ等、市場に流通しない食材の消費に当たり不安がある場合は、市町村等で行っている放射能簡易検査を御活用いただきますようお願いいたします。

放射能簡易検査に係る県ホームページアドレス：  
[http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp\\_portal/PortalServlet?DISPLAY\\_ID=DIRECT&NEXT\\_DISPLAY\\_ID=U000004&CONTENTS\\_ID=32433](http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=32433)

(問い合わせ先 福島県災害対策本部モニタリングチーム 電話 024-521-1917)

## 第2期日常食調査分析結果一覧

No.	方部	年齢区分	Cs-134 [Bq/kg]		Cs-137 [Bq/kg]		放射性セシウム (Cs-134+Cs-137) [Bq/kg]	(参考)		
								I-131 [Bq/kg]		K-40 [Bq/kg]
			濃度	検出下限値	濃度	検出下限値	濃度	濃度	検出下限値	濃度
1	県北	1	欠測(県外に転居のため)							
2	県北	1	不検出	0.085	0.070	0.070	0.070	不検出	0.078	29
3	県北	1	不検出	0.11	不検出	0.091	不検出	不検出	0.078	30
4	県北	1	不検出	0.16	不検出	0.13	不検出	不検出	0.15	26
5	県北	1	不検出	0.15	0.43	0.12	0.43	不検出	0.12	21
6	県北	2	0.12	0.092	0.26	0.070	0.38	不検出	0.072	29
7	県北	2	0.59	0.15	0.89	0.14	1.5	不検出	0.12	61
8	県北	2	不検出	0.11	不検出	0.086	不検出	不検出	0.10	18
9	県北	2	不検出	0.089	不検出	0.069	不検出	不検出	0.081	37
10	県北	2	0.19	0.082	0.38	0.063	0.57	不検出	0.057	24
11	県北	2	不検出	0.11	不検出	0.099	不検出	不検出	0.11	38
12	県北	2	0.24	0.064	0.27	0.067	0.52	不検出	0.078	28
13	県北	3	0.28	0.097	0.33	0.085	0.60	不検出	0.097	41
14	県北	3	0.34	0.078	0.59	0.075	0.93	不検出	0.085	23
15	県北	3	0.60	0.099	0.99	0.077	1.6	不検出	0.072	40
16	県北	3	57	0.12	93	0.14	150	不検出	0.21	40
17	県北	3	0.21	0.068	0.32	0.058	0.53	不検出	0.073	28
18	県北	3	不検出	0.092	0.27	0.072	0.27	不検出	0.068	44
19	県中	1	不検出	0.098	不検出	0.088	不検出	不検出	0.078	25
20	県中	1	不検出	0.063	0.076	0.050	0.076	不検出	0.052	20
21	県中	1	不検出	0.070	0.096	0.055	0.096	不検出	0.072	26
22	県中	1	不検出	0.057	0.058	0.053	0.058	不検出	0.059	20
23	県中	1	不検出	0.10	不検出	0.091	不検出	不検出	0.079	30
24	県中	1	0.13	0.080	0.24	0.059	0.36	不検出	0.069	24
25	県中	1	不検出	0.081	不検出	0.061	不検出	不検出	0.066	23
26	県中	2	不検出	0.084	0.11	0.072	0.11	不検出	0.067	24
27	県中	2	不検出	0.050	0.052	0.043	0.052	不検出	0.056	21
28	県中	2	0.25	0.086	0.34	0.077	0.58	不検出	0.085	27
29	県中	2	不検出	0.057	0.10	0.044	0.10	不検出	0.058	31
30	県中	2	不検出	0.071	0.10	0.058	0.10	不検出	0.071	22
31	県中	2	不検出	0.10	0.16	0.083	0.16	不検出	0.083	33
32	県中	2	0.12	0.091	0.18	0.072	0.29	不検出	0.077	30
33	県中	3	0.18	0.093	0.24	0.079	0.42	不検出	0.10	29
34	県中	3	0.21	0.11	0.28	0.094	0.50	不検出	0.11	30
35	県中	3	不検出	0.070	0.091	0.064	0.091	不検出	0.075	27
36	県中	3	不検出	0.086	0.12	0.067	0.12	不検出	0.069	36
37	県中	3	0.10	0.093	0.23	0.084	0.32	不検出	0.073	34
38	県中	3	0.15	0.067	0.21	0.061	0.37	不検出	0.076	34
39	県中	3	不検出	0.087	0.16	0.068	0.16	不検出	0.066	33
40	県南	1	不検出	0.090	不検出	0.099	不検出	不検出	0.10	14
41	県南	1	不検出	0.10	不検出	0.12	不検出	不検出	0.13	27
42	県南	2	不検出	0.10	不検出	0.11	不検出	不検出	0.10	36
43	県南	2	0.087	0.084	0.13	0.094	0.21	不検出	0.10	31
44	県南	3	不検出	0.10	不検出	0.12	不検出	不検出	0.11	32
45	県南	3	0.13	0.091	0.21	0.093	0.34	不検出	0.10	41

No.	方 部	年 齢 区 分	Cs-134 [Bq/kg]		Cs-137 [Bq/kg]		放射性セシウム (Cs-134+Cs-137) [Bq/kg]	(参考)		
			濃度	検出下限値	濃度	検出下限値		I-131 [Bq/kg]		K-40 [Bq/kg]
							濃度	検出下限値	濃度	
46	会津	1	不検出	0.068	0.078	0.065	0.078	不検出	0.065	26
47	会津	1	不検出	0.090	不検出	0.071	不検出	不検出	0.052	16
48	会津	1	不検出	0.066	0.071	0.054	0.071	不検出	0.068	24
49	会津	2	0.16	0.067	0.21	0.056	0.37	不検出	0.052	44
50	会津	2	0.086	0.074	0.17	0.064	0.26	不検出	0.058	20
51	会津	2	0.10	0.079	0.11	0.067	0.21	不検出	0.057	30
52	会津	3	不検出	0.078	0.066	0.065	0.066	不検出	0.051	22
53	会津	3	不検出	0.088	0.20	0.069	0.20	不検出	0.066	43
54	会津	3	<u>0.21</u>	<u>0.14</u>	<u>0.38</u>	<u>0.11</u>	<u>0.59</u>	不検出	<u>0.11</u>	<u>59</u>
55	南会津	1	不検出	<u>0.47</u>	不検出	<u>0.45</u>	不検出	不検出	<u>0.37</u>	<u>92</u>
56	南会津	2	0.077	0.073	0.082	0.063	0.16	不検出	0.054	28
57	南会津	3	0.28	0.070	0.39	0.067	0.67	不検出	0.059	43
58	相双	1	不検出	0.095	0.16	0.066	0.16	不検出	0.057	26
59	相双	1	不検出	0.070	不検出	0.064	不検出	不検出	0.058	21
60	相双	2	不検出	0.086	0.10	0.068	0.10	不検出	0.064	24
61	相双	2	不検出	0.090	0.18	0.062	0.18	不検出	0.051	38
62	相双	3	不検出	0.078	0.15	0.058	0.15	不検出	0.054	27
63	相双	3	0.24	0.077	0.41	0.067	0.65	不検出	0.060	20
64	いわき	1	不検出	0.087	不検出	0.064	不検出	不検出	0.051	33
65	いわき	1	不検出	0.080	不検出	0.071	不検出	不検出	0.057	26
66	いわき	1	不検出	<u>0.092</u>	不検出	<u>0.087</u>	不検出	不検出	<u>0.077</u>	<u>8.6</u>
67	いわき	1	0.082	0.070	0.087	0.062	0.17	不検出	0.067	19
68	いわき	1	<u>0.14</u>	<u>0.098</u>	<u>0.23</u>	<u>0.082</u>	<u>0.37</u>	不検出	<u>0.075</u>	<u>37</u>
69	いわき	2	0.10	0.076	0.14	0.060	0.24	不検出	0.049	20
70	いわき	2	不検出	0.076	不検出	0.063	不検出	不検出	0.057	21
71	いわき	2	不検出	0.076	不検出	0.067	不検出	不検出	0.088	28
72	いわき	2	不検出	0.079	0.12	0.069	0.12	不検出	0.055	33
73	いわき	2	不検出	<u>0.081</u>	<u>0.094</u>	<u>0.064</u>	<u>0.094</u>	不検出	<u>0.11</u>	<u>25</u>
74	いわき	3	<u>0.25</u>	<u>0.21</u>	<u>0.43</u>	<u>0.19</u>	<u>0.68</u>	不検出	<u>0.16</u>	<u>89</u>
75	いわき	3	不検出	0.072	不検出	0.071	不検出	不検出	0.060	20
76	いわき	3	不検出	<u>0.097</u>	<u>0.14</u>	<u>0.080</u>	<u>0.14</u>	不検出	<u>0.079</u>	<u>45</u>
77	いわき	3	0.25	0.081	0.45	0.066	0.70	不検出	0.053	31
78	いわき	3	不検出	0.078	0.091	0.061	0.091	不検出	0.054	27

※年齢区分1は1歳未満、2は1歳～12歳、3は13歳以上を表す。なお、第1期調査開始時の年齢により区分した。

※調査協力者1名が県外に転居したため今回は77人を調査対象とした。

※測定濃度及び検出下限値は、それぞれの試料を採取した期間の最終日の12時に減衰補正した(ただし、I-131の検出下限値を除く)。

※検出下限値を下回る場合、不検出と記載。本表の放射性セシウム濃度は、Cs-134、Cs-137の濃度が不検出の場合は、0Bq/kgと仮定した。

※有効数字2桁で表記。

※測定環境等の違いにより、各分析機関及び検体毎に検出下限値が異なる。

※参考のため、I-131(ヨウ素131)なども測定したが、上記以外の人工放射性核種(ガンマ線放出核種)は不検出であった。

※K-40(カリウム40);自然放射性核種

※下線部が今回の訂正箇所



## 第2期日常食調査結果一覧(1日当たりの放射性セシウム摂取量等)

No.	方部	年齢区分	摂取量等算出に用いる放射性セシウム濃度 [Bq/kg]		1日当たりの食事量 [kg/人・日]	1日当たりの放射性セシウム摂取量 [Bq/人・日]	1年間の放射性セシウム摂取による預託実効線量 [mSv]	1日当たりのK-40摂取量 [Bq/人・日]
			Cs-134	Cs-137				
1	県北	1	欠測(県外に転居のため)					
2	県北	1	<u>0.085</u>	<u>0.070</u>	1.0	0.16	0.0014	29
3	県北	1	<u>0.11</u>	<u>0.091</u>	0.73	<u>0.15</u>	<u>0.0013</u>	<u>22</u>
4	県北	1	<u>0.16</u>	<u>0.13</u>	0.90	<u>0.26</u>	<u>0.0022</u>	<u>23</u>
5	県北	1	<u>0.15</u>	<u>0.43</u>	0.60	<u>0.35</u>	<u>0.0029</u>	<u>13</u>
6	県北	2	<u>0.12</u>	<u>0.26</u>	1.2	<u>0.45</u>	<u>0.0018</u>	<u>34</u>
7	県北	2	<u>0.59</u>	<u>0.89</u>	1.4	<u>2.1</u>	<u>0.010</u>	<u>86</u>
8	県北	2	<u>0.11</u>	<u>0.086</u>	0.88	<u>0.17</u>	<u>0.00088</u>	<u>15</u>
9	県北	2	<u>0.089</u>	<u>0.069</u>	1.6	<u>0.25</u>	<u>0.0011</u>	59
10	県北	2	<u>0.19</u>	<u>0.38</u>	3.0	<u>1.7</u>	<u>0.0070</u>	<u>72</u>
11	県北	2	<u>0.11</u>	<u>0.099</u>	1.0	<u>0.22</u>	<u>0.00097</u>	<u>40</u>
12	県北	2	<u>0.24</u>	<u>0.27</u>	1.0	<u>0.54</u>	0.0028	<u>29</u>
13	県北	3	<u>0.28</u>	<u>0.33</u>	1.9	<u>1.1</u>	<u>0.0065</u>	<u>77</u>
14	県北	3	<u>0.34</u>	<u>0.59</u>	1.7	<u>1.6</u>	<u>0.0088</u>	<u>39</u>
15	県北	3	<u>0.60</u>	<u>0.99</u>	1.6	<u>2.5</u>	0.014	<u>63</u>
16	県北	3	<u>57</u>	<u>93</u>	2.5	<u>380</u>	<u>2.1</u>	<u>99</u>
17	県北	3	<u>0.21</u>	<u>0.32</u>	2.3	<u>1.2</u>	<u>0.0068</u>	<u>65</u>
18	県北	3	<u>0.092</u>	<u>0.27</u>	3.1	<u>1.1</u>	<u>0.0059</u>	<u>135</u>
19	県中	1	<u>0.098</u>	<u>0.088</u>	1.4	0.26	0.0023	35
20	県中	1	<u>0.063</u>	<u>0.076</u>	2.3	<u>0.32</u>	<u>0.0027</u>	<u>46</u>
21	県中	1	<u>0.070</u>	<u>0.10</u>	1.0	0.17	<u>0.00085</u>	27
22	県中	1	<u>0.057</u>	<u>0.058</u>	0.57	<u>0.065</u>	<u>0.00056</u>	<u>11</u>
23	県中	1	<u>0.10</u>	<u>0.091</u>	1.4	<u>0.28</u>	<u>0.0024</u>	<u>43</u>
24	県中	1	<u>0.13</u>	<u>0.24</u>	1.4	<u>0.51</u>	<u>0.0025</u>	<u>34</u>
25	県中	1	<u>0.081</u>	<u>0.061</u>	1.1	<u>0.15</u>	<u>0.0013</u>	<u>24</u>
26	県中	2	<u>0.084</u>	<u>0.11</u>	1.2	<u>0.23</u>	<u>0.0012</u>	<u>29</u>
27	県中	2	<u>0.050</u>	<u>0.052</u>	1.3	<u>0.14</u>	<u>0.00057</u>	<u>29</u>
28	県中	2	<u>0.25</u>	<u>0.34</u>	2.2	1.3	<u>0.0054</u>	<u>58</u>
29	県中	2	<u>0.057</u>	<u>0.10</u>	2.4	<u>0.38</u>	<u>0.0016</u>	<u>75</u>
30	県中	2	<u>0.071</u>	<u>0.10</u>	1.7	<u>0.28</u>	<u>0.0011</u>	<u>37</u>
31	県中	2	0.10	0.16	1.2	0.30	0.0012	<u>39</u>
32	県中	2	<u>0.12</u>	<u>0.18</u>	1.4	<u>0.41</u>	<u>0.0016</u>	<u>42</u>
33	県中	3	<u>0.18</u>	<u>0.24</u>	2.6	<u>1.1</u>	<u>0.0061</u>	<u>73</u>
34	県中	3	<u>0.21</u>	<u>0.28</u>	1.5	<u>0.76</u>	<u>0.0043</u>	<u>45</u>
35	県中	3	<u>0.070</u>	<u>0.091</u>	2.5	<u>0.40</u>	<u>0.0023</u>	<u>68</u>
36	県中	3	<u>0.086</u>	<u>0.12</u>	2.0	<u>0.41</u>	<u>0.0023</u>	<u>73</u>
37	県中	3	0.10	<u>0.23</u>	2.4	<u>0.77</u>	<u>0.0042</u>	<u>80</u>
38	県中	3	<u>0.15</u>	<u>0.21</u>	2.0	<u>0.73</u>	<u>0.0042</u>	<u>68</u>
39	県中	3	<u>0.087</u>	<u>0.16</u>	2.3	<u>0.55</u>	<u>0.0030</u>	<u>74</u>
40	県南	1	0.090	0.099	1.4	0.27	0.0014	20
41	県南	1	<u>0.10</u>	<u>0.12</u>	1.7	<u>0.39</u>	<u>0.0020</u>	<u>46</u>
42	県南	2	0.10	0.11	1.0	0.21	0.00086	37
43	県南	2	0.087	0.13	0.74	0.16	0.00079	23
44	県南	3	<u>0.10</u>	<u>0.12</u>	1.8	<u>0.39</u>	<u>0.0023</u>	<u>57</u>
45	県南	3	0.13	0.21	2.8	0.94	0.0052	114

No.	方部	年齢区分	摂取量等算出に用いる放射性セシウム濃度 [Bq/kg]		1日当たりの食事量 [kg/人・日]	1日当たりの放射性セシウム摂取量 [Bq/人・日]	1年間の放射性セシウム摂取による預託実効線量 [mSv]	1日当たりのK-40摂取量 [Bq/人・日]
			Cs-134	Cs-137				
46	会津	1	0.068	0.078	1.2	0.17	0.00086	30
47	会津	1	0.090	0.071	0.96	0.15	0.00081	15
48	会津	1	0.066	0.071	2.3	0.32	0.0016	55
49	会津	2	0.16	0.21	1.2	0.45	0.0023	53
50	会津	2	0.086	0.17	4.2	1.1	0.0042	84
51	会津	2	0.10	0.11	2.1	0.44	0.0019	64
52	会津	3	0.078	0.066	2.7	0.39	0.0023	59
53	会津	3	0.088	0.20	2.5	0.72	0.0039	107
54	会津	3	<u>0.21</u>	<u>0.38</u>	1.6	<u>0.94</u>	<u>0.0052</u>	<u>94</u>
55	南会津	1	<u>0.47</u>	<u>0.45</u>	0.20	<u>0.19</u>	<u>0.0016</u>	<u>19</u>
56	南会津	2	0.077	0.082	2.8	0.45	0.0020	79
57	南会津	3	0.28	0.39	2.4	1.6	0.0092	105
58	相双	1	0.095	0.16	1.2	0.30	0.0025	31
59	相双	1	0.070	0.064	1.3	0.17	0.0015	27
60	相双	2	0.086	0.10	1.7	0.32	0.0013	42
61	相双	2	0.090	0.18	2.2	0.59	0.0024	83
62	相双	3	0.078	0.15	2.7	0.61	0.0034	73
63	相双	3	0.24	0.41	3.6	2.4	0.013	73
64	いわき	1	0.087	0.064	1.1	0.17	0.00090	37
65	いわき	1	0.080	0.071	1.5	0.23	0.0012	40
66	いわき	1	<u>0.092</u>	<u>0.087</u>	0.98	<u>0.17</u>	<u>0.0015</u>	<u>8.4</u>
67	いわき	1	0.082	0.087	1.0	0.17	0.00088	19
68	いわき	1	<u>0.14</u>	<u>0.23</u>	0.61	<u>0.23</u>	<u>0.0011</u>	<u>23</u>
69	いわき	2	0.10	0.14	1.3	0.31	0.0013	26
70	いわき	2	0.076	0.063	1.0	0.14	0.00059	21
71	いわき	2	0.076	0.067	2.3	0.33	0.0014	65
72	いわき	2	0.079	0.12	2.1	0.42	0.0018	69
73	いわき	2	<u>0.081</u>	<u>0.094</u>	1.8	<u>0.32</u>	<u>0.0013</u>	<u>46</u>
74	いわき	3	<u>0.25</u>	<u>0.43</u>	1.3	<u>0.86</u>	<u>0.0048</u>	<u>112</u>
75	いわき	3	0.072	0.071	2.1	0.30	0.0018	42
76	いわき	3	<u>0.097</u>	<u>0.14</u>	1.7	<u>0.40</u>	<u>0.0023</u>	<u>76</u>
77	いわき	3	0.25	0.45	2.3	1.6	0.0090	72
78	いわき	3	0.078	0.091	2.1	0.35	0.0020	56

※年齢区分1は1歳未満、2は1歳～12歳、3は13歳以上を表す。なお、第1期調査開始時の年齢により区分した。

※調査協力者1名が県外に転居したため今回は77人を調査対象とした。

※本表の摂取量等算出に用いる放射性セシウム濃度は、より安全側に立った評価をするため、Cs-134、Cs-137の濃度が不検出の場合は、検出下限値の放射性セシウムが含まれていると仮定した。これらの値を用いて放射性セシウム摂取量及び預託実効線量を算出した(有効数字2桁)。

※放射性物質摂取による預託実効線量(放射性物質摂取後、それが体内からなくなるまでの間の総内部被ばく線量)は、「環境放射線モニタリング指針」(平成20年3月、原子力安全委員会)に基づき試算した。計算式は

$$1年間の放射性セシウム摂取による預託実効線量[mSv] = (\text{本表のCs-134濃度}[Bq/kg] \times \text{Cs-134の換算係数}[mSv/Bq] + \text{本表のCs-137濃度}[Bq/kg] \times \text{Cs-137の換算係数}[mSv/Bq]) \times 1日当たりの食事量[kg/人・日] \times 365.25$$

換算係数は国際放射線防護委員会(ICRP)「Publication 72」(1996)によった。

Cs-134の換算係数[mSv/Bq]:0歳が0.000026、1～2歳が0.000016、3～7歳が0.000013、8～12歳が0.000014、13歳以上が0.000019。

Cs-137の換算係数[mSv/Bq]:0歳が0.000021、1～2歳が0.000012、3～7歳が0.0000096、8～12歳が0.000011、13歳以上が0.000013。

なお、預託実効線量の試算に当たっては、食事回収時の実年齢に応じた換算係数を使用した。

※下線部が今回の訂正箇所